

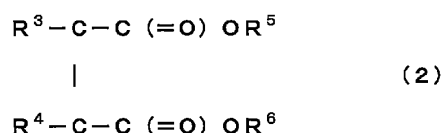
請求の範囲

- [請求項1] マグネシウム、チタン、ハロゲン、エーテルカーボネート化合物（A）及びコハク酸ジエステル化合物（B）を含み、下記式（エーテルカーボネート化合物（A）の含有量／コハク酸ジエステル化合物（B）の含有量）で表されるモル比が、0.01～1.00であることを特徴とするオレフィン類重合用固体触媒成分。
- [請求項2] 前記エーテルカーボネート化合物（A）が、下記一般式（1）；
- $$R^1-O-C(=O)-O-Z-O-R^2 \quad (1)$$
- （式中、 R^1 及び R^2 は、炭素数1～20の直鎖状アルキル基、炭素数3～20の分岐アルキル基、ビニル基、炭素数3～20の直鎖状アルケニル基又は分岐アルケニル基、炭素数1～20の直鎖状ハロゲン置換アルキル基、炭素数3～20の分岐ハロゲン置換アルキル基、炭素数2～20の直鎖状ハロゲン置換アルケニル基、炭素数3～20の分岐ハロゲン置換アルケニル基、炭素数3～20のシクロアルキル基、炭素数3～20のシクロアルケニル基、炭素数3～20のハロゲン置換シクロアルキル基、炭素数3～20のハロゲン置換シクロアルケニル基、炭素数6～24の芳香族炭化水素基、炭素数6～24のハロゲン置換芳香族炭化水素基、結合末端が炭素原子である炭素数2～24の窒素原子含有炭化水素基、結合末端が炭素原子である炭素数2～24の酸素原子含有炭化水素基又は結合末端が炭素原子である炭素数2～24のリン含有炭化水素基を示し、 R^1 及び R^2 は互いに同一であっても異なってもよく、但し、該炭素数2～24の窒素原子含有炭化水素基は、結合末端がC=N基であるもの、該炭素数2～24の酸素原子含有炭化水素基は、結合末端がカルボニル基であるもの、該炭素数2～24のリン含有炭化水素基は、結合末端がC=P基であるものをそれぞれ除く。Zは、炭素原子又は炭素鎖を介して結合する結合性基を示す。）

で表される化合物から選ばれる一種以上である請求項 1 に記載のオレフィン類重合用固体触媒成分。

[請求項3] 前記コハク酸エステル化合物 (B) が、下記一般式 (2) ;

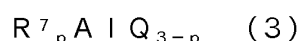
[化1]



(式中、 R^3 及び R^4 は、水素原子又は炭素数 1 ～ 4 のアルキル基であって互いに同一であってもよいし異なってもよく、 R^5 及び R^6 は、炭素数 2 ～ 4 の直鎖アルキル基又は分岐アルキル基であって互いに同一であってもよいし異なってもよい。)

で表される化合物から選ばれる一種以上である請求項 1 に記載のオレフィン類重合用固体触媒成分。

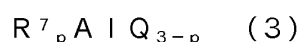
[請求項4] (I) 請求項 1 に記載のオレフィン類重合用固体触媒成分、及び
(II) 下記一般式 (3) ;



(式中、 R^7 は、炭素数 1 ～ 6 のアルキル基であり、Q は、水素原子あるいはハロゲンであり、p は、 $0 < p \leq 3$ の実数であり、 R^7 が複数存在する場合、各 R^7 は互いに同一であっても異なってもよく、Q が複数存在する場合、各Q は互いに同一であっても異なってもよい。)

で表わされる有機アルミニウム化合物を含むことを特徴とするオレフィン類重合用触媒。

[請求項5] (I) 請求項 1 に記載のオレフィン類重合用固体触媒成分、
(I I) 下記一般式 (3) ;



(式中、 R^7 は、炭素数 1 ～ 6 のアルキル基であり、Q は、水素原子あるいはハロゲンであり、p は、 $0 < p \leq 3$ の実数であり、 R^7 が複

数存在する場合、各 R^7 は互いに同一であっても異なってもよく、 Q が複数存在する場合、各 Q は互いに同一であっても異なってもよい。）

で表わされる有機アルミニウム化合物、及び

(I I I) 外部電子供与性化合物

を含む請求項 4 に記載のオレフィン類重合用触媒。

[請求項 6] 請求項 4 に記載のオレフィン重合用触媒の存在下にオレフィン類の重合を行うことを特徴とするオレフィン類重合体の製造方法。

[請求項 7] 請求項 5 に記載のオレフィン重合用触媒の存在下にオレフィン類の重合を行うことを特徴とするオレフィン類重合体の製造方法。